

青木のりおの

朝ごはんでもおなじみ!

“青のり”こと、

青のりレポート!

<http://aokinorio.com>



Vol. 30

久末水道タンク跡地利用について

10年以上跡地利用について地域とともに取り組んでまいりました。ご要望の中で特に多かったのが防災機能を充実させてほしいという声でした。多くの話し合いを重ねた結果、お陰様で今回久末町内会の防災格納庫を設置することができました。引き続き土地の管理も含めて地域と良好な関係を築いていくよう市に提言してまいります。



青木のりお 昭和52年8月26日生まれ

- 4期連続トップ当選 (29才初当選)
- 議会運営委員会委員長
- 健康福祉委員長、まちづくり委員長歴任
- 川崎市幼稚園父母の会、連合会前会長、高津消防団員、保護司
- 英国ボーンマス大学院国際経営学Dip取得、産業能率大学、サレジオ学院中高、洗足学園小、川崎めぐみ幼
- 両親、妻、息子3人の7人家族
- フラッグフットボール日本選手権3連覇 W杯日本代表



市議会報告

高津区内の都市計画道路の進捗状況について

【子母口工区】 用地取得が完了、来年度着手が決定しました。以前より地域からご要望をいただいていたバスルートが変更される予定です。それに伴い子母口住宅前バス停が当該工区内に移設する予定です。狭い道路をバスが通過することがなくなり、当該工区は通学路にもなりますので、引き続き安全対策にも注視してまいります。



【蟻山坂工区】 今年度の完了を目指しています。環境が変わることへの懸念や、安全対策、雨水対策などの意見が地元から寄せられているため、丁寧な対応を要望しました。

【久末工区】 用地取得率32%。引き続き事業の進捗を図ります。

子どもの声にUNSN

市のホームページでの情報発信が決定しました!

昨年度に引き続き、子どもの声を騒音の定義から外すよう条約改正を提言しました。川崎市では子どもの声を数値化し、騒音として定義しています。この定義を見直すよう提言し続けたところ、子どもの声を数値化するのは市としてもなじまないとの回答があり、正式に子どもの声を騒音と定義しない旨を市のホームページに掲載することとなりました。子どもを育てやすい街に一步前進したと考えます。



市のHPにて情報発信中

令和元年第3回川崎市議会定例会が閉会しました。本年度は文教委員会に所属し、主に交通安全・文化・スポーツ・保育園・学校について審査してまいります。また、議会運営委員会の委員長を拝命し、より一層充実した議会運営が実現できるように尽力していきたいと考えます。

経済活性化にUNSN

開業率、事業継承支援、観光施策について議会質問!

【開業率について】川崎市は政令市の中でも開業率が高い都市です。さらなる開業率のアップ、全国一位の目標を提言しました。市の取り組みとしてはエアビック (AIRBIC) ケーニック (K-NIC) などの産業交流・研究開発施設を開設しています。



【事業継承について】後継者が未定などの理由で廃業に追い込まれる中小企業が増えてきています。市は「KAWASAKI 事業継承市場」を設置し支援に取り組んでいます。引き続き取り組みの強化を提言しました。

【観光施策について】川崎市の観光客数は年々増加しており、昨年度は1628万人でした。本年度の目標は120万人アップの1748万人です。市は工場夜景ツアーなどの川崎らしい取り組みの他、多言語によるサービス提供やキャッシュレスサービスの普及促進にも取り組んでいます。広報戦略をよく練り、広く情報発信していくことが大切であると提言しました。



川崎工場夜景カレンダー 2019 より

青のりカフェ (地域座談会) 各地で開催中!! どなたでも申し込み受付中!

川崎市議会議員 青木のりお事務所 〒213-0029 神奈川県川崎市高津区東野川2-29-11 TEL 044-788-8899 FAX 044-788-6440 E-mail info@aokinorio.com H P http://aokinorio.com

令和元年 第3回 川崎市議会定例会 6月議会 ご報告

6月10日～7月3日の会期にて令和元年第3回定例会が開催され、自由民主党川崎市議会議員団は、代表質問（質問者：橋本勝団長）を6月19日、行いました。天皇陛下のご即位への祝意を申し上げる一方で、多摩区登戸新町における死傷事件の亡くなられた2名に哀悼の意を捧げるとともに、被害者にお見舞いを申し上げ、再発防止にむけた取り組みの強化を市に求めました。

本定例会には38億円を減額する本年度一般会計補正予算案など31議案が上程されました。橋本団長は、「市政95年を迎える今、活力ある経済・安心できる持続可能な社会を実現することを目指す」として、市長はじめ関係各局に質問しました。



上:山崎直史議長 下:橋本勝団長

議会かわさき広報キャラクター およよん
「議会かわさき」広報キャラクター“およよん”は、昨年誕生しました。市民に親しまれる、柔らかなイメージを持っており、市議会としてもより市民に身近で親しみやすい、開かれた議会の象徴となる事を願っています。

多摩区における殺傷事件の再発防止に関する決議案が可決

令和元年第3回定例会の本会議(第4日目)において全会一致で可決しました。

決議案第3号

多摩区における殺傷事件の再発防止に関する決議

5月28日、多摩区において、スクールバスを待っていた子どもたちと保護者が突然襲われ、18人が負傷し、2人が命を奪われるという理不尽かつ悲惨な事件が発生した。

本市議会は、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、心身ともに深い傷を負われた方々に心からお見舞いを申し上げるところである。

被害者の多くが子どもであることから丁寧な心のケアが必要とされるとともに、不安や恐れを感じながら日々生活している市民のためにも、再発防止に向けて、通学路や公園等において警察官が重点的な警戒をすること、地域団体による見守りを充実させること、地域住民の防犯意識を向上させることなど、社会全体で子どもたちの安全を確保していかなければならない。

また、加害者が社会との関わり合いをほとんど持っていなかったことや、同居する親族が加害者に関して悩みを持っていたことなどが明らかにされている。

加害者が自ら命を絶っている中で事件の全容解明は難しい状況にあるが、貧困、失業や8050問題等による社会的な孤立、偏見、差別等や地域コミュニティの希薄化が問題とされていることに鑑みると、困難や心労を抱える市民の行政に対する相談が促進されるとともに、地域の人と人が繋がり、理解し合い、孤立を生まない社会、一緒に生きようと手を差し伸べられる社会の構築を推進していかなければならない。

よって、本市議会は、被害者の心のケアや、子どもたちの安全確保に向けた再発防止策が実効的に実施されるよう努めるとともに、市民が互いに手を携えて心穏やかに生きることができる社会の構築に向けて力を尽くすなど、二度とこのような事件が生じないよう全力で取り組むことを強く決意するものである。

以上、決議する。

年 月 日

川崎市議会

交差点の安全対策

5月8日、滋賀県大津市で痛ましい事故が発生しました。本市においても鹿島田の店舗に車が突っ込む等、交差点の安全対策は急を要します。答弁によると、今後市として、幹線道路の主要交差点約500ヶ所のガードレールや車止めポール等の設置状況を確認し、結果をふまえ、交通管理者等と協議し、適切な安全対策に取り組むとのことです。



人権全般条例 罰則規定必要!?

「(仮称)川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」の実効性について日本国憲法が保障する「表現の自由」について留意しつつ、「罰則規定を設けることなどにより、その確保を図ってまいりたい」と市長が議場ではじめて答弁しました。本条例案には賛否両論あり、今後文教委員会で議論を尽くしていきます。

新築工事の入札不調及び今後の方針

新築工事では3度に渡る入札にも関わらず不調となり見通しの甘さが露呈、設備4工事においては入札を中止としなければならず、工事を大幅に延期しなければならない事態となりました。

今回の不調に伴い、設計の見直しが行われますが、設計業者の選定方法、設計委託に要する費用また、設計の見直しにより、今後、新築工事にかかる事業費の再算出が行われますが、新たな事業費の公表時期はどうなっていくのか伺いました。市は、設計者としての責任区分や時間的な制約から、これまで基本設計と実施設計を委託していた設計事務所と随意契約したところであり、費用については約1億1千5百万円です。また、新たな費用の公表時期については本年秋頃までに公表してまいりたいと考えておりますとのことでした。我が会派は、引き続き注視し、早期建設着工に向けて競争性の確保について訴えてまいります。

